第4課

1. 単語

気遣い

気を使っていただいてありがとうございます

使い：使うこと　無駄遣い　言葉使い

わたくしども　　　　　　　　　　　あの方がた

わたしたち　　　あなたがた（たち）あのひとたち

わしら　　　　　君たち（ら）　　　かれら

おれら　　　　　お前たち（ら）　　かのじょたち

ぼくら　　　　　きさま

あたしたち

ほら：［感］何かを指し示して、相手の注意をひくときに発する声。

「―、見て」

「ほら、言ったとおりだろう」

へえ：

**１** 感心したり、あきれたり、驚いたりしたときに発する声。「―、今初めて聞いたよ」  
**２** 「へい」に同じ。「―、さようでございます」

太っている

また太りました

太りますよ

まあ：[副］  
**１** とりあえずするように勧めるさま。何はともあれ。まず。

「話はあとにして、―一杯どうぞ」

「―お掛けください」  
**２** 結果に自信を持てないが、一応してみるさま。とにかく。

「ちょっと厄介だが―やってみるか」  
**３** 多少のためらいを持ちながら、意見を述べるさま。「―やめたほうがいい」「―彼が勝つだろう」  
**４** 十分ではないが、一応は我慢できる程度であるさま。「―よくできたほうだ」  
Z6AFA.gif［感］驚きや意外な気持ちを表す語。あら。おや。「―、お久しぶり」

「―、そうでしたか」

「―、失礼ね」

失礼：名・形動］(スル)  
**１** 他人に接する際の心得をわきまえていないこと。礼儀に欠けること。また、そのさま。失敬。

「失礼なやつ」「先日は失礼しました」  
**２** 他人のもとを立ち去ることのていねいな言い方。「お先に失礼します」立ち話

お先にどうぞ

Z6AFA.gif［感］軽く謝るとき、人に何かたずねたり頼んだりするとき、また人と別れるときなどのあいさつの言葉。「―、ちょっと前を通してくださいませんか」「また近いうちに会おう、では―」

失礼ですが、おいくつですか

**[用法]** **失礼・**[**失敬**](http://dic.yahoo.co.jp/dsearch?enc=UTF-8&p=%E5%A4%B1%E7%A4%BC&dtype=0&stype=1&dname=0na&ref=1&index=09541708151900)**・**[**無礼**](http://dic.yahoo.co.jp/dsearch?enc=UTF-8&p=%E5%A4%B1%E7%A4%BC&dtype=0&stype=1&dname=0na&ref=1&index=19067716373600)――「人の足を踏んでおいて謝りもしないとは失礼な（失敬な・無礼な）やつだ」のように、礼儀を心得ないの意では相通じて用いる。◇「失礼」は、問いかけたり、わびたり、別れたりする時など、礼儀に外れないために、もっとも普通に男女ともに用いる。また、相手が目上・同輩・目下だれにでも使える。「失礼ですが、山本さんでいらっしゃいますか」「お名前を読み間違えてたいへん失礼いたしました」「お先に失礼」など。◇「失敬」は、やや古い語で、主に男性が同輩・目下に対して使う。敬意の程度は「失礼」よりも軽く、「きのうは失敬した」「これで失敬するよ」などと用いる。

◇「無礼」は古風な語で、目上に対して身分をわきまえないという意味合いを含む。

「ご無礼いたします」「この」

食べ過ぎ　　決める　　決まる

決まり：

**１** 物事が決まること。問題になっていたり面倒だったりした物事の終わり。。おさまり。

「これで話は―だ」「仕事に―を付ける」  
**２** よりどころとして定められている事柄。規則。通則。「決まりを破る」「―に従う」  
**３** 一定していること。いつものこと。定例。

「散歩が朝の―だ」  
**４** （多く「おきまり」の形で）言動がいつも同じで新鮮味がないこと。また、きまり文句。

「おきまりの自慢話」

お決まりのように

俳句はわかりますか

現れる：

**１** （現れる）今までなかったものが姿を見せる。

「彗星(すいせい)のごとく―・れる」

**２** （表れる）隠れていたものが表面に出てくる。感情・思想などが表面から知られる状態になる。

「怒りが顔に―・れる」

「彼の考えがよく―・れた文章」  
**３** （現れる）隠れていたものが際立って見えてくる。知れわたる。「が世に―・れる」  
**４** （顕れる）よくないことが公になる。発覚する。「悪事が―・れる」

親しい：

**１** 互いに打ちとけて仲がよい。懇意だ。

「家族ぐるみで―・くしている」「―・い友達」  
**２** 血筋が近い。「―・い」  
**３** いつも接していて、なじみ深い。

「子供のころから耳に―・いおとぎ話」

砕ける：

**１** 固い物やかたまりになっている物が、衝撃などで小さくばらばらになる。

「コップが粉々に―・ける」「波が―・ける」  
**２** 釣り合いがとれなくなって、くずれる。また、何かをしようとする気持ちや勢いがすっかり衰える。くじける。「闘志が―・ける」

**3** 話・文章などが、わかりやすくなる。

「―・けた表現」

平気  
主：重要なさま。中心になるさま。

「この地方の―な産物」「―なメンバー」  
それは主です

度合：物事の程度。ほどあい。

「減少の―が大きい」「緊張の―が高まる」

単語Ⅱ

その態度は何だ

乱暴：

**１** 道理を無視して、荒々しい振る舞いをすること。また、そのさま。

「―な男」「―されたと訴える」

**２** やり方・扱い方が、荒っぽく雑であること。また、そのさま。

「―な運転」「道具を―に扱う」「それは―な話だ」

新鮮：

**１** 魚・肉・野菜などが、新しくて生き生きとしていること。また、そのさま。

「―なくだもの」  
**２** 汚れがなく、澄みきっていること。また、そのさま。

「山の―な空気を吸う」  
**３** 物事に今までにない新しさが感じられるさま。「―な感覚の絵」

工事中

厳しい：

**１** 厳格で少しのゆるみも許さないさま。厳重である。

「―・いしつけを受ける」

「―・く取り締まる」

「練習が―・い」  
**２** いいかげんな対処が許されないさま。困難が多くて、大変なさま。

「生活が―・い」

「前途は―・い」  
**３** 自然現象などの程度が著しいさま。  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01676.gif傾斜が急である。けわしい。

「―・い山容」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01678.gif気象条件がなみはずれている。激しい。ひどい。

「寒さが―・くなる」

「残暑―・い」  
**４** 物事の状態が緊張・緊迫しているさま。

「―・い国際情勢」

「表情を―・くして会見する」

優しい：

**１** 姿・ようすなどが優美である。上品で美しい。

「―・い顔かたち」

「声が―・い」  
**２** 他人に対して思いやりがあり、情がこまやかである。

「―・く慰める」

「―・い言葉をかける」  
**３** 性質がすなおでしとやかである。穏和で、好ましい感じである。

「気だての―・い子」

ぜいたく：

**１** 必要な程度をこえて、物事に金銭や物などを使うこと。金銭や物などを惜しまないこと。また、そのさま。

「―を尽くす」

「―な暮らし」

「生地を―に使った服」

「たまには―したい」  
**２** 限度や、ふさわしい程度をこえること。また、そのさま。

「―を言えばきりがない」「―な望み」

あの方がた

三、文法

１、・・・わりには

接続方法：連体修飾

意味：ある事から予想・推測される程度。…に応じた程度よりは。结果与从已知条件中所预测的结论大有出入。可以翻译为：“虽说……但（却）”

「値段の―には品物がよい」

「若い―には礼儀正しい」  
この果物は値段のわりにはおいしいです

この国は面積が広い割には人口が少ないです

あの子はまだ若いわりには、よく知っています

あいつはせっかちなわりには詳しく説明してくれた

あの子はいじめられっ子のわりに気が強い

悪い天気のわりにはみんな快く働いている

あの町は小さいわりにはえています

一生懸命働いているわりには、収穫があまりないんです。

２、・・・んだから→・・・のだから

接続方法：連体修飾　　から⇔ので

意味：接在句末做强调、解释用。

新しく出版された本なんだから、高くても買います

遅いんだから、どこも行かないで

家賃が安いんだから、ここに住もう

一生懸命作ったんだから、もうちょっと食べてくれよ

いろいろと用意したんだから、遅くても来てね

おなかがすいたのですから、なんでもいいです。食べさせてくださいませんか。

砕けた言い方　　　丁寧

ちょうだい

ていただく／もらう

２０００円頂戴いたします

これを家まで持って頂戴

ねえ、ねえ、これ、使い方がわからないんだから、教えて頂戴よ

この字はどう書くか教えて頂戴よ

電気をつけて頂戴、今手が放さないから

**１** もらうこと、また、もらって飲食することをへりくだっていう語。

「結構な品を―いたしました」

「もう十分―しました」  
**２** （多く、女性・子供の用いる語）  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01676.gif物を与えてくれ、また、売ってくれという命令の意を、親しみの気持ちをこめてすようにいう語。ください。「それを―」「牛肉五〇〇グラム―」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01678.gif「…て頂戴」の形で補助動詞の命令形のように用いて、相手に何かをしてもらうのを促す気持ちを、親しみをこめていう語。「その新聞を取って―」

仕事

前菜

のわず　　問う　ない→ず

わ

自分の出張や判断を相手に納得させたり、自分で確認したりする気持ち

そんなことは知らないわ

何かに感動した気持ち

まあ、きれいだわ

驚きあきれる気持ち

電車は込むわ

かしら：［終助］  
**１** 口調を和らげ、不審・疑問の気持ちを表す。かな。  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01676.gif自分自身に対して問いかける。「あら、雨が降ってきたの―」「午後は何をしよう―」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01678.gif相手に対して問いかける。「ご都合はいかが―」  
**２** 打消しの助動詞「ない」「ん（ぬ）」のあとに付けて、願望・依頼の意を表す。

「わたしも連れていってくれない―」「お世話願えません―」  
**◆**現代では、多く女性が用いる。

なあ：

**１** 動詞・動詞型助動詞の終止形、ラ変型活用語の連体形に付く。禁止の意を表す。

「油断する―」「まだ帰る―」

**２** 《補助動詞「なさる」の命令形「なさい」の省略形》動詞・動詞型助動詞の連用形に付く。命令の意を表す。「早く行き―」「好きなようにやり―」  
**３** 活用語の終止形、助詞に付く。  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01676.gif軽い断定・主張の意を表す。

「これは失敗だ―」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01678.gif（多く「なさい」「ください」「ちょうだい」などに付いて）命令をやわらげていう意を表す。「これください―」「お手伝いしてちょうだい―」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/02513.gif相手の返答・同意を求めたり、念を押したりする意を表す。「君も行ってくれるだろう―」「早めに片付けよう―」「―、いいだろう」

感動・詠嘆の意を表す。



「この暑さにはまいった―」「楽しい―」

さ：［終助］種々の語に付く。

**１** 自分の判断や主張を確認しながら念を押す意を表す。「ぼくにだってできる―」

**２** 傍観的な、多少投げやり（敷衍，听之任之）な調子で、あっさりと言い放す気持ちを表す。

「好きなようにやればいいの―」

「そう心配することはない―」  
**３** 疑問語とともに用いて、質問・反駁(はんばく)・の意を表す。

「行くって、どこへ行くの―」

「男のくせに何―」

「どうして黙っているの―」  
  
**４** （多く「とさ」「ってさ」の形で）他人の話を説明したり、紹介したりする気持ちを表す。

「昔々、竹取の翁(おきな)という老人がいたと―」「彼も行くんですって―」

お＋動詞連用形です

お持ちですか

ご存知ですか

に：累加

コース

なんか：「副助］《代名詞「なに」に副助詞「か」の付いた「なにか」の音変化から》名詞、名詞に準じる語、活用語の連用形、一部の助詞などに付く。何か、などの話し言葉  
**１** 一例を挙げて示す。…など。

「この着物―お似合いです」「映画―よく行く」  
  
**２** ある事物を例示し、それを軽んじていう意を表す。…など。「彼の言うこと―聞くな」「君に―わからない」

お金なんかほしくないよ

山下なんか人は知らないよ

私なんかは

同士：身分や境遇、性質などが互いに共通している人。他の名詞の下に付いて、接尾語的にも用いられる。どし。「愛し合った―」「従兄弟(いとこ)―」

「初対面―」控えめ　　部長同士

いくつか

一週間に何回かスーパーへ行きます

何冊かの文法の本を買いました

何人かの日本人の友達が来ました

何枚かの絵を描きました

３、・・・うえに　　その上に

接続方法：連体修飾

意味：……に加えて。

「ねだんが安い―に、品質が優れている」

あの子は美人の上に金持ちです

道に迷ったうえに雨に降られた。ひどい目にあった

あの人はお金もある上に力もある

もうこの上に申し上げることはございません

この部屋は暖かい上にきれいですから、ここに住みたくなりました。

財布を落とした上に会社に遅刻してしまいました

食料品の上に衣類も買わなければならないから、お金が足りない

先生にしかられた上に、簡単な問題も答えられなかったので、やる気がなくなった

早く帰った上に家事も全部やってくれました

簡単な上に、点数が高い

４、・・・たら、いい／・・・ば（よろしい）

接続方法：同た、仮定形

意味：劝诱，建议对方做某事。与「・・・といい」同　入手

教わりたいなら、はっきり話せばいい

何か困ることがあれば、私に一言声をかければいい

この本を入手する／手に入れるには、作者に手紙を書けばいい

お金が必要になるとき、このカードを持って、銀行に行ってお金を下ろせばいい

ここに旅行に来たくなるなら、いつでもいいですから、お電話をくれたらいい

そんなにやりたいなら、こっそりとやってみたらいい

・・・にする

・・・お決まりです

もつ　　お持ちでしょうか

よくわかっているなら、自分の考えを言ったらいい

５、・・・ところに

接続方法：連体修飾

意味： ちょうどその時に

食べているところに写真を撮られてしまいました。

部屋に入ったところに寝覚まし時計が鳴ったので、びっくりしちゃった

小包を局員に渡したところに、王さんにもう少し入れたいといわれた

会社に帰るところに新しい出来事が起きた

「これをください」といったところに、財布を忘れたことに気づいた

ゆっくり休んでいるところにお客さんに来られて、よく休まなかった

・・・に対して　　・・・にとって

そのことに対して、みんな関心を持っています

一年生に対して調査を行いました。

一人に対して手当てが３０００円出します。

東京が現代化に対して、京都は古いです

弟は英語が強いのに対して、兄は語学が弱いです

向かう

雨に向かって、風に向かって

海に向かって　　である

６、・・・でもあり、またでもある。

接続方法：体言，形容动词词干后；

形容词词尾い→く＋もあり、またい→く＋もある

意味：表示两者兼而有之。可以翻译为：“即……也……”　　電気人形のように

盲目　　５分間ごと首を南に向いて動く

さびしくもあり、また気味悪くもある。

忙しい日は、つらくもあり、またたのしくもある

この写真を見ると、懐かしくもあり、また悔しくもある

彼女は専業主婦でもあり、また有名な歌人でもある

同僚とお酒を飲むことは、職場の人間関係の調整でもあり、またストレス解消の方法でもある

買い物をすることは、必要でもあり、また、趣味でもある。

難しいことを習うのはつらくもあり、面白くもある